

令和7年度公益財団法人豊川市国際交流協会事業計画（変更後）

I 事業方針

豊川市国際交流協会は、設立後30年以上が過ぎ、時代の変化とともに本協会に求められる役割も多様化してきている。近年はベトナムやインドネシアなど東南アジア出身の外国人が増加しており、より多言語での情報提供が重要となっている。

豊川市には、約8,500人の外国人が住んでおり、昨年度策定された「第4次豊川市多文化共生推進プラン（2025～2029）」を基に、今後想定される様々な課題に対して、市及び関係団体等と連携して取り組まなければならない。

人々の移動や交流を制限してきた新型コロナウイルスも、感染症法上の扱いが「5類」に引き下げられたことで、人の動きや社会経済活動が活発化し、それに比例して外国人住民も増加、多様化してきている。

今後さらに増加することが予想される外国人住民に対し、安全で安心して暮らせるよう、日本語教室を始め、各種講座を開催し、日本文化や日本の生活習慣に対する理解を深めるとともに、防災意識及び災害対応の向上等、多角的な施策を講じていく必要がある。

また、交流や異なる文化への理解を目的としたイベント等事業を開催するとともに、市・学校・企業などと連携して、若者の国際感覚を養う機会を創出し、多文化共生社会の構築と、今後、協会の事業運営に携わってもらえる人材の確保に引き続き努める。

こうした事業を推進していくため、協会ホームページやSNSなどの活用でスピーディーな情報提供を行い、市民の方々のご理解とご支援をいただき、運営委員会を始め協会ボランティアの協力のもと、地域の国際化のさらなる進展を目指す。

II 事業計画

本年度の事業は、費用対効果、最小の経費で最大の効果を上げることを念頭に、次の4項目の公益目的事業に沿って進める。

公益目的事業1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を推進する。

① ワールドフェスティバル2025

この地域に在住の外国人に日本文化を紹介し、日本人とともに、音楽や踊りなどを通してより互いを理解しあえる交流の場を設け、他団体とも協働して多文化理解を図るための催しを行う。運営委員を中心に実行委員会により、様々な方々の意見を取り入れ実施する。

②ホームステイによる外国人研修生等との交流（随時）

文科省や外務省などからの研修生のホームステイを受け入れ、互いの文化や風俗、生活習慣など相互理解を深める。

③ 豊橋技術科学大学留学生との交流

豊橋技科大と連携し、学生と市民の交流、地元グローバル企業の訪問などを絡めたイベントの開催を検討する。

(2) 外国支援事業

開発途上国の人たちに衣料品などを送る生活支援活動を行う。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介等事業

地域の国際化に関心のある市民や、災害時の外国人支援の為にボランティアを募集、登録、育成することで、多文化共生社会を築いていくための市民活動の活性化を図る。また、青年が海外で様々な体験をしながらグローバルな視野を学ぶ機会を提供することで、若者の人材育成に役立て、地域の国際化を推進する。

①イベント支援等に係るボランティアの募集・登録、育成 とともに、市民や関係機関からの要請や問い合わせに対する登録ボランティアの紹介

②協会に関わるボランティアグループの活動状況などの情報交換をし、協会及びボランティア間の連携を強めるための交流会の開催

③日本語を指導するボランティアの育成など講座の開催

④「防災ってお互いさま」講座の開催を通じ、災害時における、外国人支援のためのボランティア、特に言語による支援のための多言語通訳ボランティアを育成

(2) 国際理解講座・講演会

人権・環境・多文化・平和など地球規模の課題や、地域の国際化について理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会を行うことにより、国際理解に向けた取り組みを推進する。

①文化講座

「どんな国シリーズ」として、この地域に在住の外国人の方を招き、世界各国の歴史・風俗・習慣や外国の食文化などを紹介し、国際感覚の醸成や国際理解を図る。

②国際理解講演会

多文化共生や国際理解を深めるための講座などを開催し、地域の国際化や国際感覚を身につけた市民の育成を図る。今年度は35周年事業の一環として功労者表彰式とあわせて行う。

③「音楽の日」事業

フランス部会が開催していた「音楽の日」事業を協会事業に格上げし、フランス音楽を中心にした音楽イベントを開催して、市民にフランス文化に親しんでもらうことで多文化共生への理解を深める。

(3) 姉妹都市等の交流

豊川市の姉妹都市等との異文化体験や交流、相互理解の機会を通して、地域の国際化を推進する人材を育成する。

(4) 交流座談会「ワールド交流広場」の開催

外国人市民と日本人市民が気軽に雑談や意見交換ができる場を設け、交流や相互理解を深める座談会を開催する。

(5) 外国語講座

市民を対象に、国際交流を目的とした多言語の外国語講座を開催することにより、国際交流イベントへの参画を促して、外国人住民との相互理解と市民の国際感覚の向上に努め、国際化に対応できる人材づくりの一助とする。

①英語講座（定員10人～20人）

- ア メアリー先生とノリノリ英会話1（初級）5月～8月
- イ メアリー先生とノリノリ英会話2（初級）9月～12月
- ウ みんなのための英会話1（初級）5月～8月
- エ みんなのための英会話2（初級）9月～12月
- オ 世界のトピックを英語で話してみよう！（中級）12月～3月
- カ 自分の意見を英語で言ってみよう！（初中級）12月～3月

②中国語講座（定員10人）

- ア 使える中国語生活会話1（初級）9月～12月
- イ 使える中国語生活会話2（初級）12月～3月

③スペイン語講座（定員10人）

- ア 話そうスペイン語！（初級）12月～3月

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、安心して日常生活を送ることができるよう支援するために日本語教室を開催する。日本語習得の機会を提供し、日本の文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進する。

①日本語教室の開催（通年）

日本語を勉強したい外国人市民が、より多くの受講機会を得られるよう、平日の午前中の教室と、土曜日の夜間の教室を開催する。また、日本語ボランティアスキルアップ研修などを開催し、ボランティアのレベルを高め、事業の充実を図る。

②第16回豊川市日本語スピーチコンテストの開催

日本語が母語でない小学生以上の市内在住者に、日本での生活を通しての考えたことや伝えたいことを発表する機会を提供し、日本人市民が外国人市民の意見を聞く機会として開催する。更に市民相互の交流や国際理解を図る。

③第16回東三河日本語スピーチコンテストへの参加

東三河5市の国際交流協会が共催する東三河日本語スピーチコンテストに参加し、東三河地域での相互交流や国際理解を図る。（7年度は豊橋市）

④多文化共生課外授業

正月や七夕など日本の年中行事を通じて日本文化や日本語学習を図り、様々な体験を通し外国人市民の見分を広める。

(2) ペクラ事業

市内に在住する外国人の約4割を、ラテンアメリカ籍の方々が占めていることから、その子どもたちへの日本語教室及び母国語教室を開催することで、日本語や母国語で円滑なコミュニケーションがとれるよう学習支援をする。

①母国のポルトガル語やスペイン語の学習会、また日本語（主に教科学習）の勉強会を開催。更に他の関係機関と協力して子供たちの就学や心のケアのお話会などを実施する。

(3) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語による相談や生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図り、多文化共生社会づくりを推進する。

①英語、スペイン語、ポルトガル語など協会職員による生活相談及び情報提供

(4) 翻訳事業

市民、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行う。

(5) 外国人支援講座

日本で生活するための社会制度などへの理解を深めるための講座・事業を行う。

①外国人のための税務相談会の開催

②外国人向け防災啓発事業

外国人が平時から災害に備え、発災時の迅速な避難行動につなげていくことを目的に愛知県が防災の基本情報をまとめた「あいち多文化防災ポケットガイド」を英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語で印刷・配布する。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関紙発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図る。

①機関紙「We」の発行 発行回数：年2回（4月、10月）

(2) 多言語翻訳事業

日本語が分からないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳や、当協会からのイベントや啓発などの情報を母国語で提供する。

(3) 協会ホームページ等の運営事業

ホームページ、フェイスブック、インスタグラム及びX（旧ツイッター）を活用し、本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業をより多くの市民に情報提供し、協会事業への参加を促すため情報発信を行う。